

渋谷ハチコウ大学×総合研究大学院大学 連携講座(～5/30分)講師紹介

山田 康弘

総合研究大学院大学 日本歴史研究専攻 教授
／国立歴史民俗博物館研究部教授

熊本大学文学部助手、島根大学法文学部教授等を経て、2011年国立歴史民俗博物館准教授。2013年より総合研究大学院大学准教授併任。2015年より現職。博士(文学)。縄文時代の墓制や社会を中心に、日本の先史文化の研究を行っている。

講座

3月7日(土)

縄文時代の子供と大人、家族と社会

寺井 洋平

総合研究大学院大学
先導科学研究科生命共生体進化学専攻 助教

東京工業大学 生命理工学研究科 修了 博士(理学)
日本学術振興会特別研究員、東京工業大学 生命
GCOE特任助教
などを経て総合研究大学院大学 先導科学研究科
生命共生体進化学専攻 助教

講座

5月23日(土) 5月30日(土)

生物はどのように進化し多様になってきたのか?

青木 優美

総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科
素粒子原子核専攻

上智大学理工学部物質生命理工学科卒業。総合研究大学院大学
高エネルギー加速器科学研究科素粒子原子核専攻在学中。専門は
素粒子実験のための測定器の開発と物理シミュレーション。研究に関わ
る広報活動をこれまでに30回以上実施。中学・高校理科教職免許
第1種取得。最近のマイブームは物理アクセサリ作り。

講座

4月18日(土)

女性研究者が教える!質量とは何か～宇宙の謎に迫る素粒子物理学最前線～



三原 智

総合研究大学院大学 素粒子原子核専攻 教授
／高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 教授

京都大学理学研究科博士課程修了、東京大学理学博士。欧州CERN研究所の電子・陽電子衝突型加速器でOPAL実験で新粒子探索に従事。その後はエネルギースケールを1万分の1に下げてミューオンの稀事象探索の研究を開始。現在はスイスPSI研究所のMEGII実験、東海村J-PARCのCOMET実験を精力的に進めている。2014年より現職。文部科学省科学官。

講座

4月4日(土) 素粒子と対称性～宇宙は右利きか左利きか?～

5月16日(土)

素粒子のまれな現象を探る～我々の宇宙は偶然なのか?～

榊原 悟

総合研究大学院大学 核融合科学専攻 教授
／核融合科学研究所 ヘリカル研究部 教授

1995年総合研究大学院大学数物科学研究科を修了。
博士(工学)。同年4月に核融合科学研究所助手に着任。
同研究所准教授を経て、2013年1月より現職。総合
研究大学院大学物理科学研究科教授を併任。

講座

3月1日(日) 地上の太陽を目指して

-核融合研究の現状と課題-

本吉 洋一

総合研究大学院大学 極域科学専攻 教授
／国立極地研究所 研究教育系地圏研究グループ教授

理学博士、1987年4月～88年9月 オーストラリア、ニューサウスウェールズ大学研究員、1988年 国立極地研究所地学部門助手、1994年助教、2001年教授を経て、2016年4月より情報・システム研究機構国立極地研究所広報室長。

南極歴：第23次夏隊、第24次夏隊、オーストラリア隊、第33次越冬隊、第40次夏隊、第42次越冬隊(観測隊長)、第46次夏隊、南極フライト(2007)、第51次夏隊(観測隊長)、南極航空網調査(2011)、第58次夏隊(観測隊長)

講座

3月21日(土) 28日(土) 南極の石が語る地球の変動